



平成27年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社ソフト99コーポレーション
代 表 者 名 代表取締役社長 田中 秀明
(コード：4464 東証第二部)
問 合 せ 先 常務取締役 西川 保
(TEL. 06-6942-8761)

特別損失（のれんの減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期連結決算におきまして、下記の通り“のれんの減損損失”を特別損失に計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. のれんの減損損失の計上について

平成27年1月に株式会社オレンジ・ジャパンの全株式を取得し、連結子会社化した際に生じた“のれん”につきまして、平成27年3月期決算において、174百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

2. 当該連結子会社の事業環境と活動状況について

株式会社オレンジ・ジャパン（以下、OJ社という。）は平成23年3月に設立された、TPMS（Tire Pressure Monitoring System：タイヤ空気圧監視装置）の商品企画・開発・販売を行うファブレスメーカーであります。

TPMSは、安全運転やエコドライブの観点から、近年欧米諸国を中心に新車乗用車への搭載法制化が進められております。しかしながら、日本国内におきましては、関係省庁等においてTPMSの技術要件の基準化や搭載車両拡大に向けた議論が進められつつあるものの、現時点では自動車メーカーによる一部車種への自主的な搭載が開始された段階であり、当社としては国内TPMS需要の本格化までにはまだ時間がかかるものと想定しております。

このような状況におきまして、OJ社は、運輸・運送・物流関連企業やカー用品店・タイヤショップ等に向けて自動車アフターパーツとしてのTPMS製品の開発と販売を進めてまいりましたが、平成28年3月期中に自動車部品メーカー向けに提供開始予定であったOEM製品開発に遅れが生じた事により、株式取得の際に想定しておりました事業計画の達成についても同様に遅れが生じる可能性があることから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて、のれんの減損処理をすることといたしました。

なお、今般会計基準に則って減損処理はいたしましたが、当社グループとしましては引き続きOJ社のTPMS事業の拡大を目指し、今後も注力を継続する予定です。

（注）上記の事業環境や将来の見通し等は現時点における当社独自の調査・見解によるものであり、実際には様々な要素によって異なる結果となる場合があります。

3. 業績に与える影響

本件につきましては、本日公表の「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上